

令和8年10月9日
観光文化スポーツ部文化課

**世界遺産「佐渡島の金山」×「宗像・沖ノ島」シンポジウムを
東京・一橋講堂で開催します**

新潟県と福岡県では、地域間交流（Local to Local）を促進しています。このたび、「世界遺産」分野の連携として、共同で公開シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、二つの世界遺産を対象に、複雑で分かりにくい世界遺産の価値をいかに可視化し、持続可能な地域づくりへとつなげていくか、多様な立場の登壇者と共に考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

1 日 時

令和8年11月3日（火曜日・祝日） 13時00分～16時30分

2 会場等

一橋大学 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2階）
入場無料 定員 500名（要申込・先着順）

3 内 容

テーマ：なぜ、この島は世界遺産になったのか？

「見えない価値」の紐解きと、持続可能な地域づくりへの展望

第1部：基調講演 「世界遺産のこれまでの潮流と、両遺産の価値と魅力」

宮澤 光 氏（世界遺産アカデミー主任研究員）

第2部：活動報告 『見えない価値』を未来へ繋ぐ ——両遺産群の取組」

第3部：パネルディスカッション

コーディネーター 西村 幸夫 氏（東京大学名誉教授・國學院大學名誉教授）

4 主催等

主催：「佐渡島の金山」保存活用実行委員会（新潟県・佐渡市ほか）

共催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会（福岡県・宗像市・福津市・宗像大社）

・詳細は別紙チラシを参照ください。

※取材申込の方は、当日、受付にて社名、氏名、連絡先をお知らせください。



【本件についてのお問い合わせ先】

観光文化スポーツ部文化課 世界遺産室
担当：安井

（直通）025-280-5726 （県庁内線）3920